

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2010年10月4日【号外2】

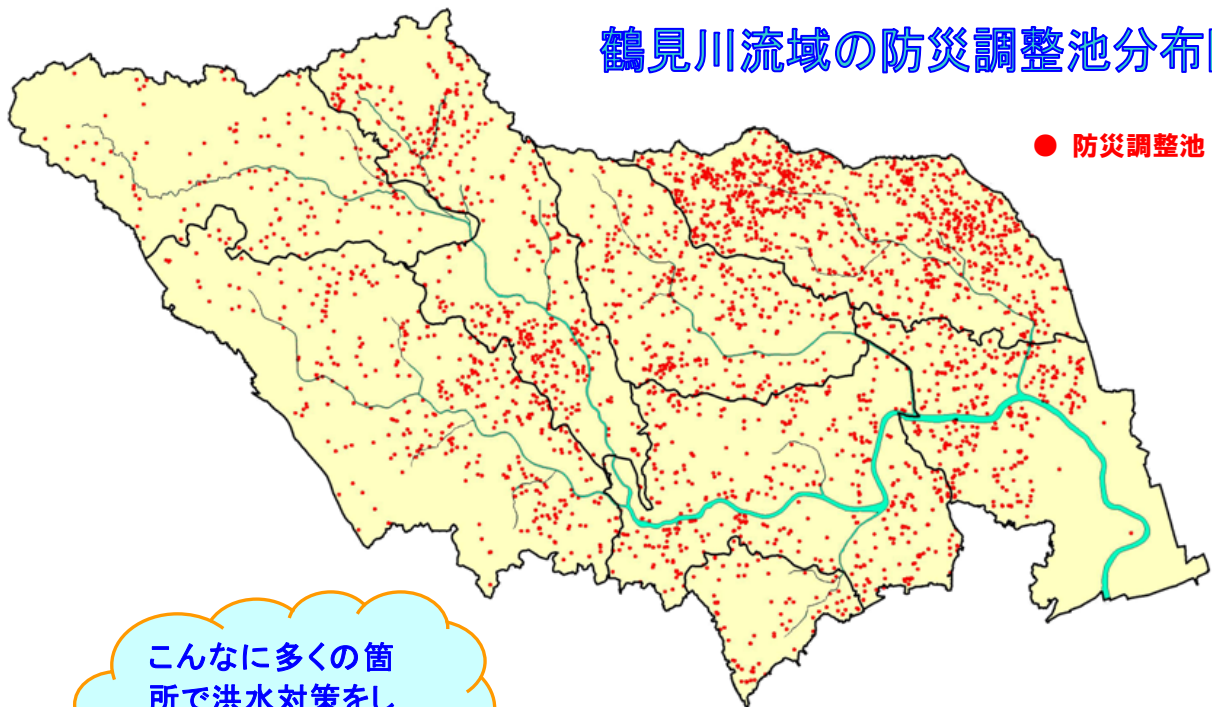
鶴見川は流域全体で洪水の対策を行っています 約3300基(合計容量約270万m³)の防災調整池が活躍しています

鶴見川流域には、大量の雨が一挙に川に流れ込まないように、降った雨を一時的に貯める施設（調整池）が、様々な形で造られています。この調整池には、雨を貯めるだけの機能しかない単一の目的の物と、テニスコートや公園など他の目的と併用しているものがあります。

現在、流域全体で約3,300基、容量を合計すると約270万m³【平成15年調べ】の防災調整池が設置されています。これは、横浜市港北区小机町にある鶴見川多目的遊水地（容量390m³）の約70%にもなる容量であり、下流の洪水被害防止に大きく役立っています。

従来（H17.3以前）、住宅地等の開発の祭には、宅地開発指導要綱に基づき整備されてきましたが、平成17年4月1日に特定都市河川流域に指定され、雨水貯留浸透阻害行為に対し、雨水貯留浸透施設（防災調整池）の整備が義務づけられています。

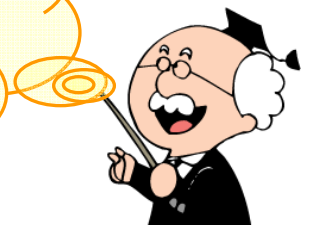
鶴見川流域の防災調整池分布図



こんなに多くの箇所で洪水対策をしているんだね



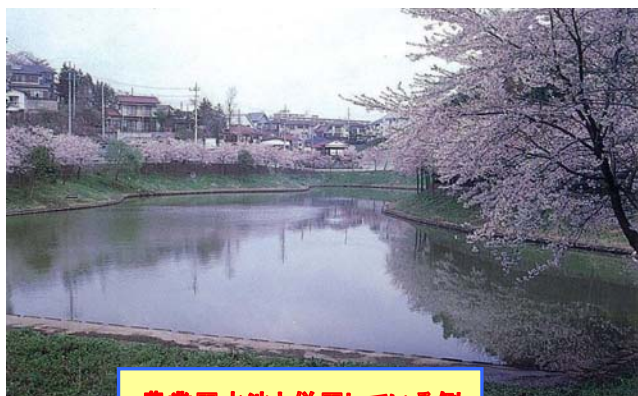
上流の人達の積み重ねが大きな力になって、下流の人達の安心に役立っているんだよ。



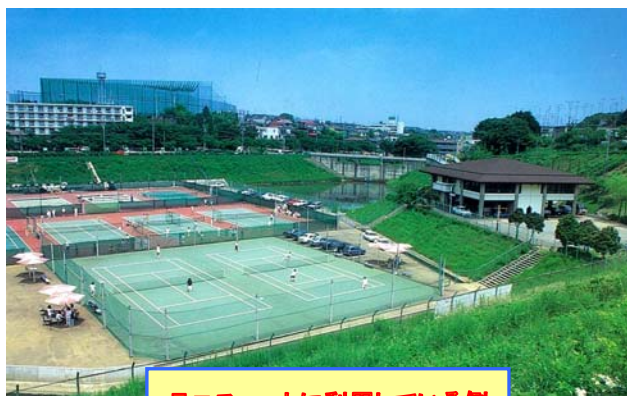
★ 単一目的の調整池です ★



★ 多目的の調整池です ★



農業用水池と併用している例



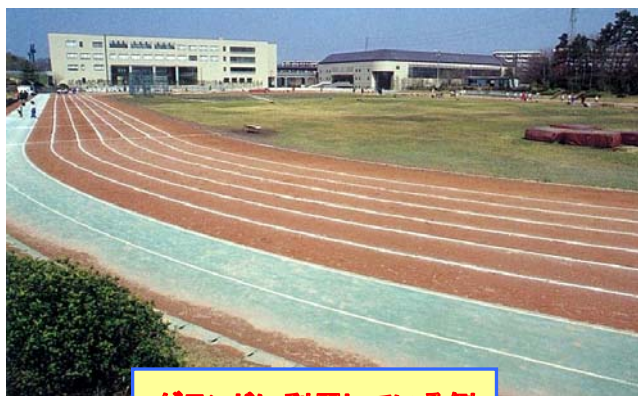
テニスコートに利用している例



公園として利用している例



野球場に利用している例



グラウンドに利用している例



建物の地下に雨水を溜める例